

第154号

平成27年6月

発行／喜茂別町議会
編集／議会広報編集委員会

● もくじ

審議された議案と結果……………	P 2
総括質疑 要旨……………	P 7
特別委員会調査報告……………	P 15
新たな議会構成でスタート……………	P 16

(表紙写真 新議員)

● 平成二十七年第一回定例会

議会だより



平成27年第1回定例議会

審議された議案と結果

第1回定例会は、3月12日から19日までの8日間の会期で行われ、冒頭、町長から人口の推移についての行政報告がありました。

会期中、町政・教育執行方針に基づく、町長、教育長に対する総括質疑、予算特別委員会（菊地光男委員長）で、平成27年度各会計の予算案が審議されたほか、条例の制定及び一部改正、補正予算など議案32件、発議案1件、意見書4件が審議され、いずれの案件も原案のとおり可決されました。

議案第4号

平成27年度後期高齢者医療特別会計予算
予算総額3千8百51万5千円

原案可決

議案第5号

平成27年度簡易水道事業特別会計予算
予算総額1億8千8百74万9千円

原案可決

議案第1号

平成27年度一般会計予算
予算総額28億1千8百30万7千円

原案可決

議案第6号

平成27年度公共下水道事業特別会計予算
予算総額1億2千7百7万6千円

原案可決

議案第2号

平成27年度国民健康保険特別会計予算
予算総額1億7百72万7千円

原案可決

議案第7号

課設置条例の一部改正
高齢者の相談窓口を1本化し、より分かりやすい組織体制を整えるため、健康推進課の高齢者福祉に関する業務を元気応援課に移すための改正を行うものです。

原案可決

議案第3号

平成27年度介護サービス事業特別会計予算
予算総額2千9百34万3千円

原案可決

議案第8号

職員の給与に関する条例の一部改正
平成26年の人事院勧告による給与制度の総合的見直しにより、職員給与の平均2%の引き下げと引き下げに伴

う激変緩和経過措置として3年間の現給保障を行うための改正を行うものです。

原案可決

議案第12号

スポーツ貢献表彰に関する条例の一部改正
今まで、スポーツ貢献表彰審議会が行っていたスポーツ貢献表彰者の決定を、教育委員会において直接決定することに変更するための改正を行うものです。

原案可決

議案第9号

定住促進基本条例の一部改正

出産に対する支援（一子につき10万円相当の商品券の交付）、新規就農者への支援（就農資金返済額の一部を補助金として交付）、民間賃貸住宅建設促進事業の実施期間の延長（平成28年度まで2年間の延長）、高等学校通学費の補助内容の見直し（第2子以降に対する定期券購入費の全額補助）など、事業の追加及び事業内容の変更のため改正を行うものです。

原案可決

議案第13号

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育委員長職の廃止と文化貢献表彰審議会及びスポーツ貢献表彰審議会の廃止に伴い、別表に定める教育委員長及び各表彰審議会委員の項を削除するため改正を行うものです。

原案可決

議案第10号

教育委員会教育長の給与及び勤務に関する条例の一部改正

地方自治法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律等の施行に伴い、教育委員会教育長の給与及び勤務に関する条例について所用の改正を行うものです。

原案可決

議案第14号

地域公共交通の運行及び管理に関する条例の制定
胆振線代替バス路線の一部廃止に伴い、その影響を受ける交通空白地域を補い、誰もが利用できる交通手段を確保するため新たに条例を制定するものです。

原案可決

議案第11号

文化貢献表彰に関する条例の一部改正

今まで、文化貢献表彰者審議委員会が行っていた文化貢献表彰者の決定を、教育委員会において直接決定することに変更するための改正を行うものです。

原案可決

議案第15号

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の制定

子ども・子育て支援法の規定に基づき特定保育施設等の利用者負担金等を定める必要があることから条例を制

議案
第16号

農業委員会手数料徴収条例の全部改正

農地法の改正に伴い、農業委員会が行う事務手数料を定める農業委員会手数料徴収条例の全面改正が必要となったことにより改正するものです。

原案可決

議案
第17号

乳幼児等医療費助成条例の一部改正

条例の題名を子ども医療費助成条例と改め、助成対象者を満15歳以降に達する年度末まで引き上げることと自己負担額の全額を町が負担するため改正するものです。

原案可決

議案
第18号

行政手続条例の一部改正

行政手続法の一部を改正する法律の改正に伴い「行政指導等の中止等」を求めるなどの規定を設ける改正です。

原案可決

議案
第19号

町税条例及び後期高齢者医療に関する条例の一部改正

個人町民税の第4期及び後期高齢者医療に関する普通徴収に係る保険料の第6期の納期を12月20日から12月28日に変更するため改正を行うものです。

原案可決

議案
第20号

喜茂別町保育所条例の一部改正

本年4月から施行される子ども・子育て新制度に基づき、保育が受けられる要件が「保育に欠ける」から「保育を必要とする」に変更になったことと「保育に必要な事由」が追加されたことに伴い、改正を行うものです。

原案可決

議案
第21号

後志広域連合の規約変更

介護保険制度改正による保険料負担割合の変更に伴い、地域支援事業の財源構成割合が変更となることから、かかる経費の町村負担割合を変更するため規約の変更をするものです。

原案可決

議案
第22号

公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例に基づく指定管理者の指定

指定管理者に管理を行わせようとする公の施設

中山峠森の美術館

指定管理者となる法人の名称

加森観光株式会社

指定期間 平成27年4月1日から

平成32年3月31日まで

原案可決

議案
第23号

平成26年度一般会計補正予算（第8回）

財政調整基金積立金7千3百4万2千円、総合戦略策定委託及び温暖化対策実計画策定委託業務、木質バイオマス製造・利用施設導入調査委託料1千7百70万円、胆振線代替バス運営費補助金5百13万8千円、プレミアム付商品券発行事業補助金4百万円、経営体育成支援事業補助金1千2百12万3千円、北海道青年就農給付金4百93万8千円など1億3千6百77万円の増額と水の郷きもべつまちづくり振興事業補助金1千万円、民間賃貸住宅建設促進事業補助金1千4百50万円、国保特別会計繰出金8百54万5千円、清掃総務費委託料4百56万円、歳出確定見込みにおける不用額など9千5百31万4千円の減額で合計4千1百45万6千円を増額し、予算総額を31億7千8百93万9千円となります。

原案可決

議案
第26号

平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）

保険料等負担金の増、保険基盤安定負担金及び不用額等の減額により65万8千円を減額し、予算総額は3千5百95万5千円となります。

原案可決

議案
第27号

平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3回）

事業費確定等による不用額99万2千円を減額し、予算総額は1億4千2百81万9千円となります。

原案可決

議案
第28号

平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算（第2回）

事業費確定等による不用額80万円を減額し、予算総額は1億5千1百85万8千円となります。

原案可決

議案
第24号

平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第1回）

後志広域連合分賦金の増額支出など7百13万7千円を増額し、予算総額は1億1千9百65万3千円となります。

原案可決

議案
第29号

工事請負費の締結について

契約の目的 平成26年度施工（繰越明許）

羊蹄山ろく消防組合喜茂別支署庁舎

建築工事（建築主体工事）

契約金額 2億5千3百69万2千円

契約相手方 阿部・富田・日野浦特定建設工事共同企業体

契約の方法 指名競争入札

原案可決

議案
第25号

平成26年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1回）

通所介護等事業費の委託料46万3千円を減額し、予算総額は2千9百6万1千円となります。

原案可決

議案
第30号

工事請負費の締結について

契約の目的 平成26年度施工（繰越明許）
羊蹄山ろく消防組合喜茂別支庁舎建築
工事（機械設備工事）
契約金額 7千5百11万4千円
契約相手方 梅澤・北海建業経営建設共同企業体
契約の方法 指名競争入札

原案可決

議案
第31号

特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正

平成20年度まちづくり交付金事業に係る土地買収訴訟事件において、事件解決まで長期間を要した責任を明らかにするため、町長の給与額一か月分20パーセントを減額するものです。

原案可決

議案
第32号

平成27年度一般会計補正予算（第1回）

議案31号の可決理由により、町長の給与13万4千円を減額し、予算総額は28億1千8百17万3千円となります。

原案可決

発議案
第1号

議会委員会条例の一部改正

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育委員長が廃止となるため、委員会における説明員の要求者を「教育委員長」から「教育長」とする

原案可決

意見案
第1号

TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書

提出者 越後耕司議員
賛成者 菊地光男議員 松橋正樹議員

原案可決

意見案
第2号

農協関係法制度の見直しに関する意見書

提出者 越後耕司議員
賛成者 菊地光男議員 松橋正樹議員

原案可決

意見案
第3号

必要な介護サービスを受けられるよう求める意見書

提出者 菊地光男議員
賛成者 近藤勝己議員 越後耕司議員

原案可決

意見案
第4号

安心・安全の医療・介護の実現、医療・介護従事者の大幅増員と処遇改善を求める意見書

提出者 菊地光男議員
賛成者 近藤勝己議員 越後耕司議員

原案可決

ものです。

原案可決

予算と振興方針についての総括質疑 要旨



近藤 勝己議員

近藤議員

国が進める地方創生について本町ではどのように取り組むのかその想いを伺いたい。

菅原町長

国が、地方に目を向けたことについては期待をしている。国は、それに沿って戦略的な計画を立て経済の立て直しを急ごうとしている。

地方もそれ相応の努力をしないといけないことだと思ってい。平成27年度は、即効性のある予算が組まれ、その後、公共事業や民間企業も合わせて大きく跳ね上がるような期待感を持た

せることだと思っている。

しかし、事業が採択されるかされないかは大きな課題となるが、それを踏まえた上で本町の財政を考慮しながら進めたい。人口減少に歯止めをかけるため、これまで各団体の自主的な努力に期待し、補助等を行ってきた事業だけでは時代を勝ち抜けないと感じるので、行政が中心となって考えていくことも進めたい。

この1年間、各団体・個人の方から積極的な意見をいただきたいと思っている。

特に林業の振興について木の植栽から伐採、それをエネルギーとして活用していくサイクルをつくりたいと考えている。

一方で医療や介護に頼らない健康をつくる事業を進めるとともに人が働いていけるような継続的なまちづくりも考えており今後、詳細について詰めていきたい。

近藤議員

地方版総合戦略の策定は、町村を超えて広域的連携による事業を行っても構わないことになっている。

国は、インパクトがあつて経済効果の高いものに注目していると思うが、本町として沿線都市との連携など経済効果の高いものを取り入れる考えはあるのか。

菅原町長

まず、羊蹄山麓の一員として何ができるのか、どう連携していくのかを基本とし、西胆振地区との政策的な研究会をつくっていきたいと考えており、その調整中である。

開発局や振興局とも連携してニセコの国際的価値、洞爺湖の価値を新幹線や高速道路と結びつける経済圏、観光圏としてまとめ上げること大きな発展の道があると思っている。



松橋 正樹議員

松橋議員

執行方針で、町民が安心して暮らし続ける取り組みとして消防支署の改築や避難場所の改修などは目途がついたとしているが、最近、消防職員による車両事故が続いている。

こうゆう状態では、建物の新しさも重要だが、消防職員の危機管理意識というものも重要だと思っている。

町長は、消防職員の危機管理意識というものをどのように考えているのか。

菅原町長

消防における事故については首長として反省するとともに強く指導してまいりたい。

羊蹄山ろく消防組合とさちつとした話し合いを済ませた上で新しい庁舎に移っていききたい。

松橋議員

公共事業は、時期的なバランスを考慮して発注すれば、町内業者も助かると思うが、どのように考えているのか。

菅原町長

国の予算が決まらなないと予算執行できない場合もある。

国等の影響のない予算執行については、全体のバランスを考慮しながら、できる範囲の中で早い段階での発注に心がけている。

松橋議員

農業の担い手の人たちが将来に希望を持てる農業政策を期待するが、どのように考えているのか。

菅原町長

農業は、本町の基幹産業であ

り、新規就農者の受け入れや担い手が続くよう進めていく必要があると認識している。

その中で、農地の流動性がなければさまざまな農業事情に対応することができないと思っている。

執行方針でもその研究をさせてもらいたいと述べており、町が農地の一部を担ってもよいのではないかと考えを示している。

今後、議会、農業者等との議論や関係機関との連携を活発に行っていくきたい。

松橋議員

保育所、放課後児童クラブの運営についてニーズ調査の結果を示してほしい。

麻生教育長

調査の結果は、行う以上示すのは当然のことだと思うので、様々な機会で努めたい。

松橋議員

保育所の臨時職員の雇用については、11カ月雇用の規定があるため、忙しい時期である月に1カ月が雇用されない状況と

堀議員

執行方針で新規就農、就業の創出とあるが、既存の農業者、商業者の安定が地域経済にとって重要だと考えるが特に商業者の就業の創出についてどのような考えているのか。

菅原町長

商店街の活性化を図るため、まちづくり交付金事業で相当な金額を投じ道路、街灯の整備やさらに観光協会を独立させ商分野においてもチャンスを与えることになると思っで行ってきたい。

私は、チャンスを変えていくのが商工業者ではないかと思っており、アイデアを出してくれば、補助金等で支援したい。

活性化委員会等で議論してほしい。

現在、商工業の活性化のために北海道と話し合っており、さらなる努力をしていく。

堀議員

今年度から役場前の道々の除排雪が町に移管され、町民の評判が良いので鈴川から御園にか

けての道々も町で委託できないのか。

菅原町長

役場前の路線は、北海道で初めて認められたもので足かけ4年5年かかった。

当該道々も北海道へお願いしているが、北海道においては、交付金収入が減ることになるため、できれば保ちたいのが内情である。

北海道としての方針を示しているわけではなく、実験的に本町で行ったと理解してほしい。

堀議員

執行方針で、公園の整備計画を作成するとしているが、河川敷のウォーキングロードなど計画の概要について聞きたい。

菅原町長

ウォーキングロードは、これまで北海道と活用について協議をしており、健康づくりに結び付けたいと考えている。

公園の整備については、ウォーキングロードと隣接するような形で整備をし、自転車でも走れるように広く利用できるよう

なっており、改善が必要ではないか。

麻生教育長

臨時保育士の雇用は、地方公務員法の規定を遵守しており、やむを得ない面があるが、保育に弊害が起きないように努めている。

保育の質を向上するためには保育士の確保は大きな課題であり、改善できるものはしていきたい。



喜茂別小学校入学式

考えている。

関係機関の許可が下りれば計画を皆様と協議していきたい。

堀議員

農業政策は、助成金等手厚いものがあるが、商業政策の中で、商業業者には、町からの助成金はなく、それでも、チャンスを変えようとがんばっている方もいる。

商工会への助成は認めているし商工会が政策を出さないこともあるが、商工会員は一生懸命頑張っている。

これについて町長の考えを聞きたい。



消防庁舎起工式



堀 浩和議員

堀議員

国が主導している地方創生について、近隣の町村では、推進本部を立ち上げ検討していると聞いているが、本町ではどのような準備をしているのか。

菅原町長

本町では、特別な体制を組んでいないが、新年度から企画の地方創生担当で全体を調整させたい。

計画づくりやその実行については、多岐に渡って事業展開していくことになるため、全体として取り組みたい。

職員を増やし、体制を整えることより、現在行っている仕事で成果を上げていくことが本町に合った形であると思っっている。

菅原町長

新たにトライしようとしている方には、応援していきたい。

今回、地方創生からみで商品券を活用して地域でお金がまわるようにしていきたい。

また、商工会員を増やす努力も必要であり、大手の企業に対して会員になってもらったり働きかけてもいる。

このような方々をどう取り込んでいくのか、商工会員の皆様と一緒に考えていきたい。

直接的ではなくとも間接的な応援はしていきたい。

堀議員

マスコットキャラクター「ウサパラくん」は、本町のイメージアップに定着しつつあるが、産んだら育てていく必要性を感じている。

そこで、子どもたちなどが気軽に身に着けられるグッズがあってもよいのではと考えるが、町長の考えを聞きたい。

菅原町長

直接的な予算はないが、きらめき事業があるので提案してみたい。

物ができあがり事業を開始する段階においては、お手伝いしていきたい。

マスコットキャラクターを使ったまちづくりに協力指導等いただきたい。

堀議員

80ウオークや喜茂別町民カルテは、平成26年度に町長が肝いりで新設された元気応援課の事業と思うが1年経過して、どのように検証し、平成27年度にっ
なげていくのか。

菅原町長

元気応援課は、現行のやり方では高齢者が安心して暮らしていけることにはならないという考え方で福祉の充実を図るため新設した。

周知も含めて道半ばと思っているが、担当者のレベルを相当あげていかないと難しいと思っています。

80ウオークについては、成果が出てきており、これを進めることによって医療費、介護の問題などよい影響がでくると思っている。

また、健康器具を設置してい

るが、使用する方が増えてきている。

健康意識の高まりが見られ成果として挙げられる。

こうした成果によって少しでも助かったと思える方が出てくることを願っている。

堀議員

町立クリニック2階の活用方法と活用時期はいつくらいと考
えているのか。

菅原町長

町立クリニックの活用は診療、体力測定の結果を押さえた上で、その人に合ったメテイカルフィットネスのようにやっていきたい。

80ウオークの調査では、本町は比較的体力が全国平均に比べ下回っており、冬期間動いていないせいか筋力も比較的にないことが分かってきた。

これらの点を踏まえフィットネス系とジムや元気応援課、健康推進課をもっと身近なものに意識を変えていきたい。

秋ぐらいには整備したいと思っており計画がまとまったら皆様にお話したいと思ってい

る。

堀議員

以前、町長から、ふるさと納税についての施策を考えていると聞いているが、現状はどうなっているのか。

菅原町長

ふるさと納税の条例は、ほぼできているが、納税という考え
方からすると過度な競争になっ
ていくことにはいかなものかな
と思っている。

税の本旨に返って努力の仕方はあると思っているが躊躇しているのが実情である。

堀議員

平成26年度に中学校で行われた土曜日授業の評価を平成27年度にどのようにつなげていくのか。

麻生教育長

学校、保護者や地域住民がともに子どもを育てる上で効果的な取り組みになったと評価している。

また、開かれた学校づくり、生きる力を高める教育活動とし

て成果があったと考えている。

平成27年度は、この成果を生かして保護者の意見も聴きながら中学校だけでなく小学校でも
展望していきたい。



館内 榮議員

館内議員

執行方針で農業政策において、公的機関の設置に向け、関係機関と協議を進めるとあるがどのようなことを考えているのか。

菅原町長

農業所得は個人差があり農業者全員が拡大方向に行くことにはならない。

その中で農地の問題があり既に塩漬けになっているところがある。

この問題は、農業委員会や関係機関と議論していくが、公的団体が農地を所有し、一定の期

間、体制を整えて、譲渡するか賃貸するかを含めて整理したいと思っている。

行政がそこへ一歩踏み込んで調整していかなければならないと思っている。

館内議員

農業政策の多面的機能支払交付金事業に地区からの希望があるのか。

菅原町長

この事業については、2、3地区から話を伺っている。

ただ、団体としてまとまっていらないとならないのと国から直接支払う形になっているので、町では事務段階での支援を行いたい。

町でも説明をし、できるだけ体制が整うよう努力したい。

館内議員

農協女性部による新規作物チャレンジ事業でさつまいもの栽培、干し芋の加工が行われているが、どの程度進んでいるのか。

菅原町長

干し芋は、水分が飛びにくいという課題があるので、もう少し研究をしないといけないと思っている。



菊地 光男議員

菊地議員

以前、東日本の被災地の視察をしてきたが国は、被災地の復旧に向け、膨大な財源の投入が必要となることから、本町の主要財源である地方交付税も影響を受けていることが考えられる。

執行方針の中では、国の財政状況を意識した財政の健全化に向けた取り組みがあまり感じられないが、本町の財政健全化について、町長の考え方を聞きたい。

菅原町長

財政の健全化は、最大の課題だと思っており、今や当たり前

のこととして捉えている。

懸念材料としては、消防庁舎の起債が有利とはいえ、バランスとしては良い形ではない。

財政を引き締めるとともに使ったお金は、効果を出すよう取り組む努力をしていきたい。

菊地議員

財政状況の指標である経常収支比率の関係で人件費の推移をみると上がってきている。

人件費は、高齢者が退職し若年者が採用され、バランスがとれるものだが、今までの採用状況をみると、以前に上がる要素があると指摘したとおり、若干上がっている。

このことを考えていかなければならないと思うが。

菅原町長

人件費の成果は見えにくく経常収支比率にも関係するが、人口に合わせた職員数は大事であると思っている。

ただ、行政需要が増えても現行のマンパワーでがんばっている
と思う。

3、4年後には、状況が変わる可能性もある。

職員の採用は、中途退職の職員の状況も考えて、多少余裕をもたせながら慎重に考えていきたい。

菊地議員

執行方針の中で人口減対策が強調されているが、平成24年3月に、現在の定住促進条例が制定され3年になる。

その間、新しい事業の追加や変更が行われているが、定住促進対策における各種の事業は、将来の人口減対策として欠かせない重要な施策であるので、部分的ではなく長期的な視野に立ち、全体的に見直す時期に来ていると思っている

将来における定住促進のあり方というものをどのように考えているのか。

菅原町長

次の総合計画をにらんで抜本的な改革になるかは別にして、大きな議論になると考えている。

国の動向、時代の変化などを捉えつつ、総合計画の前期が終わろうとしているので4年間の反省を踏まえて長期ビジョンの

視点に立って進めていきたい。

菊地議員

定住促進事業は、予算書にバラバラに計上されているが、広い視野に立ち、事業メニュー一覧としてインターネットで内外に発信していく必要があると思うが。

菅原町長

予算上の項目の整理はしていきたい。
ネット配信の仕方は再度検討していきたい。



鈴川小学校入学式



越後 耕司議員

越後議員

農業の多面的機能交付金事業については、集落そのものが協力体制を組まないといけないルールになっているが、町の単独財源で行う工夫もすると理解してよいか。

菅原町長

そのようなことではなく、地域、集落がきちつとまとまらなといけないかと思っている。

越後議員

町は、農地の保全について公社等の設立が必要だと考えているのか。

菅原町長

これから、議論していかねければならないが、踏み込んでいかなければならない問題であると思っている。

農業委員会で解決できない問題は、農業の全体を考えた中でその段階に入らないといけないと思っているが、公社をつくるまでは、考えていない。

越後議員

国保財政について、基金残高がほばない状況であり、厳しい状況にあると思うが、保険税条例の改正を近々提案する予定はあるのか。

菅原町長

基本、2年のサイクルで保険税の見直しを考えている。
平成28年度には改正する必要があるのではないかと思っている。

税率は、その町の住みやすさにも影響されるものである。で、医療費の状況や負担のあり方など総合的な判断とともに長期的には、病気にかからない健康をつくる体制も整えるなど両面から考えていきたい。



日下 博文議員

日下議員

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されたが、実質的には、何も変わっていないように思う。
どのように変わるのか説明願いたい。

麻生教育長

教育委員長と教育長のどちらが責任者なのかわかりにくいという点に対しては新制度下において教育長に一本化される。特に、首長との連携を強化する改正が柱となっている。
具体的には、首長と教育委員で構成する総合教育会議を設置して大きな問題を議論することになっている。

この会議は首長が招集することになったので、首長の権限が強化したといえる。
教育長と教育委員長の一本化

で教育長の権限が強化する。

これまで教育行政の執行については、教育委員会と首長が連携を取りながらやってきており、その点ではあまり変わらないかと思っています。

何が変わるか、運用の中で進めていかなければならないし首長と連携していくことにより、総合教育会議を実効あるものにしていくのが方針である。

日下議員

最終的に教育行政の責任は誰がとるのか。

麻生教育長

教育長が最終的な責任者となると思うが、首長との間には教育長を選任、罷免という形で責任を取るようになる。

日下議員

教育執行方針に今後の鈴川小学校のあり方について喜茂別小学校への統合を想定するとしているが、町長はどのように考えているのか。

菅原町長

これから議論が始まると思う

が、町全体としては、人を増やし、消滅町村としないという点で、学校も大きな要素である。

存続問題は、可能であれば残したいと思っている。
ただ、大前提にあるのは、地域の問題、保護者の方々の考え方は尊重したいと思っている。

学校も多様化していくことが求められるのであれば、全国のような小規模学校の運営も参考にさせてもらう段階と思っている。

日下議員

農業は本町の基幹産業としているが、生産額という点と商工業の方が多くと思う。
基幹産業の定義について、どのように考えているのか。

菅原町長

生産額でいえば、そのとおりかなと思っている。
商業は、一定の利幅を動かしていくことがひとつの考え方である。

農業は、生産が利益であり、地場に根付いたものは、ひとつのパロメーターになるのではと思っている。



保育所入所式

農業環境は、変わりつつあるが歴史的にも農業は基本でなければならぬ。

農地は守ることによって変わっていくかという点もあり、農業は、やはりまだ基幹産業としての位置づけは、変えることにはならないかと思っている。

日下議員

執行方針では、農業関係について、4ページ半、商工業には、数行しかページをさいていない。

商工業者からすると農業との落差があまりにも激しいと思うが、どのように認識しているのか。

菅原町長

施策は、字数ではないかと思っている。

今、農業は厳しい状況にあり、重要な場面を迎えている。

農業者の所得、耕作放棄地の解決など見えてこないのも事実である。

これまで農業政策について手立てを尽くしてきたが、大きな変化になっていないので反省している。

今後、この整理をしていきたいという想いがある。

日下議員

ある意味、字数で判断せざるを得ない部分もある。

農業政策には、国の制度を含めていろんなメニューがあり、行政が関係団体と協議しながら進めている。

これを否定するつもりはないが、これに対して、商工業政策は、アイディアを出したら支援をするといったように感じる。

農業は直接的であり商工業は間接的支援であり商工業も行政あげて取り組んでも良いのではないかと思うが町長の見解を聞きたい。



交通安全街頭指導

菅原町長

やはり、商工会、商人として考えていくことが生き延びる手段だと思う。

自分たちが責任を持って頑張っていくことが大切であり、そうでなければ、ただの雇い人にならざるを得ない。

ただ、これまで予算上ではそれなりに取り組んできた。

それを商工業者の方々が蓄積してきたかどうかもあるのかなと思っています。

商売している方も厳しい状況にあると認識しているが、もう少し知恵を出していただきたいと思っています。

仮に商工業者に代わって考えた事をやってくださいといったときにどこまでやれるのかという問題もある。

そうなるかと商工会はいらなくなるということだろうと思っている。

日下議員

農地の保全に関する公的機関の設置については、やり方を一歩間違えると町の財政に大きな負担をかけるという懸念を持っている。

農業委員会など既存の組織を活用しつつ、新たな公的機関は必要最低限の機関であるとの認識で良いのか。

菅原町長

そのとおり認識いただければ幸いです。

日下議員

予算では、消防庁舎の建設などで公債費が大幅に増え、片方では、基金を取り崩している。

この傾向が2年続いているが心配するのは先ほどの農地の流動化、農地の保全の関係で財政的な負担が増すと公債費比率、将来負担比率が高くなる懸念がされる。

どのような考えで予算編成したのか。

菅原町長

本町が潤沢な財政状況であるとは思っていない。

国の全体像を考えれば、そんな生易しいものではないと言える。

消防庁舎や生ごみの処理施設は、最低限必要な施設であり、町民の夢を実現するとともに財



喜茂別中学校入学式

産として残していけるものと思っている。
地方創生関連の予算についても財政状況を踏まえた上で慎重な考え方で進めたい。
予算編成にあたっては、財源を意識し、歳出の削減する努力をしてきた。
そこは理解してほしい。



議会改革特別委員会・共有不動産分割の訴えに関する調査特別委員会調査報告

「議会改革特別委員会」・「共有不動産分割の訴えに関する調査特別委員会」は、3月13日に調査結果をまとめましたので報告します。

議会改革特別委員会調査報告

1 調査事件

議会改革に係る調査

2 委員の構成

議長を除く委員8名

3 調査の経過

・委員会の設置日
平成23年8月30日

・議論の経過
合計14回委員会を開催

4 主な結果

・議員協議会の位置づけ
会議規則上の全員協議会として規則改正

・本会議における一般質問及び質疑等に関する検討
3回以内の質問回数撤廃し、一問一答方式を試行
・通年議会の検討
継続協議

・委員会の活性化
各団体との意見交換会の実施

・議会報告会の実施
継続協議

・各種計画議決事項
総合計画の基本構想・基本計画を議決事項とし条例制定

・議員定数の方向性
現行のまま

・議員報酬の方向性
議員長月額5千円アップ
副委員長月額5千円アップ

・議会中継の検討
継続協議

5 結論

時代にあった議会となるためには、常に議会の改革がなされるべきである。
本委員会の議論を踏まえ新たな議会構成の中で、新たな取り組みがなされることを期待し報告とします。

共有不動産分割の訴えに関する調査特別委員会調査報告

1 調査事件

まちづくり交付金事業における土地買収に係る訴訟事件

2 委員の構成

議長を除く委員8名

3 調査の経過

・委員会の設置日
平成24年9月27日

・議論の経過
合計7回委員会を開催

4 主な結果

本委員会では、3月の13日の委員会に置いて町長から債権の回収について一定の用途がついたとし、解決に時間がかかったことによる首長としての責任を果たしたいとの表明を受け、審議の結果、次の事項を本委員会の結論とします。

(1) 今後このような事例を繰り返さないよう迅速な対応を求める。

(2) 首長責任については、平成27年第1回定例会の会期中に示すこと。

(3) 債権の回収は、今後も鋭意努力されたい。

新たな 議会構成スタート

改選後の臨時議会において新たな議会が構成され、それぞれ役職と所属が決まりました。

議長

日下博文

副議長

菊地光男

議会運営委員会

委員長 戸井博志

副委員長 越後耕司

委員 館内榮

委員 堀内浩和

委員 松橋正樹

総務常任委員会

委員長 館内榮

副委員長 松橋正樹

委員 菊地光男

経済常任委員会

委員長 越後耕司

副委員長 堀内和

委員 菊地光男

委員 戸井博志

委員 松田薫

委員 館内榮

委員 松橋正樹

委員 小川泰樹

監査委員（議会選出）

松田薫

後志広域連合議会議員

菊地光男

羊蹄山麓環境衛生組合議会議員

堀内和
松橋正樹

羊蹄山ろく消防組合議会議員

堀内和
松橋正樹

編集後記

寒さの厳しい長い冬が終わりを告げ、本町にもようやく春がやってきました。

今年は、例年に比べ暖かく感じられる日が多く、春先の暖かい気候の影響でアスパラガスをどこよりも早く、美味しくいただけることに喜びを感じております。

さて、4月の町議会議員選挙において9名の議員が選出され新たな議会の構成による議会活動が本格的にスタートしました。

今回の選挙は、初めての無投票だったこともあり、町民の皆様方には様々なご意見があると思います。町民の意思を町政に反映させるべく邁進していきたいと思っております。

議会広報編集委員会も、新た

な4名により活動をするようになりますが、読んでわかりやすい「議会だより」になるよう、心がけていきたいと思っておりますので、ご意見等がありましたら各議員や議会事務局までお寄せいただきたいと思います。

今回の「議会だより」は、町議会議員選挙が実施されたことにより、発刊が遅れましたことをお詫びします。

広報編集委員会

委員長 小川泰樹

副委員長 堀内和

委員 菊地光男

委員 松橋正樹



©Kimobetsu Town